東京圖書館
和書門
和文類
函
三一號
三五
冊

WA 7
141
3

国立国会図書館　タイトル『枕草子 5巻』 請求記号 WA7-141

ガラス使用

楓原家蔵

故楓原考舊納本

帝國圖書館藏

帝國圖書館藏

国立国会図書館　タイトル『枕草子 5巻』 請求記号 WA7-141

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『枕草子 5巻』 請求記号 WA7-141
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『枕草子 5巻』 請求記号 WA7-141

ガラス使用

きくわとして座んとうきおのれ名うちいひさ帰さん
ゑいうふ教化なとをえ変ふりのなからんとなや
ぼうなく移んせ海かりをあまさてな座おりの事
なめ里正月なとゆをたくいとりの坊八うを招ん
そこなとひろ人のひなくはうぼうとるありとう
おこうひ8志座う恵え国ゑなおくほくゆうつるを
あを座人なめを小法師そうのふあくへくをなう思
ひやう蚊なとの堂のないやをよくちんさい志てみ
なとおうとたてをく変乃れをつか移うおく
お、ふせさふをま恵をほうくふ加くふ海なとそ
いうーをこ川をうを座ま恵をそよくくとあまさ
おおておとかなち堂う人のいいやしこれ志ひやう
なる座ほまとひてえ衣人よやあくんを内あやうし
火ゑ事ー世いをよなをいふ
をのらくれあひおつ方おこ
人よひ法番指なをいひ堂う法
三えうなるらこゑ移をひまて
こひをうなくめゑとの名
まき恵のくんといやをこう海
こあおとこるひあうゑ移8入
てくすあーうう座をこ移ぬるう耳うそゑるう乃
佛迎をいとなうくおうたかくおあそよこあろに
まさとこうやーらもあうすた約者うちたふ法師の
よむなめ里堂ふとうれとこ志ろまき表うをこゆ
又和なをうかこうて人こ
うあ我よひめさーぬ変れそりわうち海ふきぬ

国立国会図書館　タイトル『枕草子 5巻』 請求記号 WA7-141
ガラス使用

おこそなめ袖ぬるさとうちひそめ
いそ〳〵さんつゑなきりのさ祭みそ
こうの君乙御車子歩ひとつ
あまいのなる人みのあくん座くと
わうな男とも乃御ゆう宮男ひ
君よう〳〵それみて独うち
ゑ御りわねくむよ

ふしあまよ見ゆ乃
六七月のむまひつよ時そ
ふ忌を半ばけくゆるうりあ
むろちさ御車ふ日そうむ
かさをいやさむおわをあのき
ゆきうろ祝れひうらいさ座ん
ありのなるりの
よいちんのあされうきねそ
君をえうう人かこねほうん
月中の時おこふ物さ
さ乃うふ
おとこれかのうちいさふよさ
人さふまくん君よくれねくい
そうむくふまき迷よちよひ
あくんうれそれなんよ
よ野の傳をいとそうさりの

きさあけなふうのあうぬ迷う
ちいさふむまれのりてをんくう
う冬いう人乃衣下るさ祢をひ
あのおなるりの
よいちんのあされうきねそ
君をえうう人かこねほうん
月中の時おこふ物さ
さ乃うふ
おとこれかのうちいさふよさ
人さふまくん君よくれねくい
そうむくふまき迷よちよひ
あくんうれそれなんよ
よ野の傳をいとそうさりの

国立国会図書館　タイトル『枕草子 5巻』 請求記号 WA7-141
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『枕草子 5巻』 請求記号 WA7-141
ガラス使用

ものゝんーーちそうれうろ弦刃ハんね
をと思ひまそふおさーをおりんひうそそて
あーーまそふおりてをえ筋そちわそう孫ハを海と出お
まそうこ風い思ーくまふ掛れおをーー後うまをやまて
おくおと風あーーを
陰法を佛眼云云なと接たくやまそ
たう中

はーあの礼りの
あと人をようふよ我のとそ仰ーお中そりのまーて掛
とうひそおりをいやくをのはうう人乃う人なとお
いひそーをなとをもされをおされな人のまとりて
それ人れあるまへうーいひ出ありあそ迷なるう
なと人のいひそうちなくうーありまよいとなりまとき

中なそう液の梅乃とそてあれたの
うかぼくまきーまことにふをとひなーめそ
なま事ときくおそみすく後よ中くのそてきふこそ
おう種八幡の乃安れうへ人ら社世およ女院海さおの
物あさふおはあーをとめて風世うそことさ世外し
なをいうーをめてあくぼそうのはありさ海まそ
うーこまをやう世おのよにちうすー幾に撥ー
こか風まハおそうちさおうかまそいふ
見くるーうふらんせんーよ体て中とふれ
掌捐中ねのはさーきよ事外しあそいとおりう
見んこーう中てまいちんや人心うーうそなうう
ともてうひのかそうちてこて二糸の
ねほち社後うきようふめてな馬をうちや

国立国会図書館　タイトル『枕草子 5巻』 請求記号 WA7-141
ガラス使用

おこうひのひーをあんへそれすくもりれこうひく
めてなまにるうむせうなとてありまてわうハ
空をみいとあそめてさそれはおよきあーて佛
みのまたうんこそまよりめとそ忍ませ
外へふよみめてあくのまてそ
乃ねさせのへ原をさきくゆきハ例のたりふ人と
わうり勢まふまーてあの後のはりさ海兄をうせ
へ海いまーくハあとうわとおかーめさまふまー九
月をうわ秋一よりうなうーせうるあれけさを風こて
あさ月はかやうみかーうるふせんさいの菊れ露
こかれるぬ連うう空せうをいとれうーをいく
うんをんそくおなとのうへよくくをのもの
こか連のこまてふこみいせをたえさ海うあれ

すくつまたふのこ孫なと五孫はうぬ表うやうなる
あそいこうなうまふおうーそれをこ日うけ忍
きハそきなとのいとれもけるまふ露乃却んふ
み投のおうふ元そ人をまふれ忍にふとうこさ海へ
あうまうういせたうーいとといひ
せうあと人のうてちまをはめおうーかうーせ思ふ
こそみれうーそれ七月乃わ
さそ元やうちうしなをそれるよ忍をこうぬ菓孫まは
乃りそきさ風とふふとうあまをはいふ空と見みを
いそをいさなとそうまえそせそこうふ菓とな
ふとこ云却れあまをむへなお利をうきうお成を
なをわらふうみれうーあなふ草乃却ひうを
のてきまを

国立国会図書館　タイトル『枕草子 5巻』 請求記号 WA7-141
ガラス使用

ためなる紙又てなまこそはまなけま
あまるさしあまてまりまり
といそ御りられとや入ふくをなるに二月ふんの
つさにかう定といふ事するをかうまあるん
くなとをまわていろ事なる為一枚うこやうとそ
上ふを文ふもおやしれまあよりわく
ふろいろ歌舟のはまとそ為ふ日ふなとやう
なる袖をふ松ふきこそ抽花のいこをき
さ記まろふつけそのてふさやならんとやきき
やわ入こ見まふ為いふんとふりのをふさいな
なてはくみうるなまをわ松人為たくみまけん
のやうふ為てを上為いたん一川こ例ふよわて
進上如件少納言殿てとそ月日こさてみさなとの

前の世尊とて拝くふこれをこれくふ糸らん
とはるとひふをかふもまふ為ふとそまいこあ為ふ
いまをおふまま書松ひふまふ為ふうふ歌ふ
まいめてあくをふきこうふ歌ふうこふまなを
かめさ世松て消文ふこうふ世外川色事をいうくを為
おくんあの為いふんりそくふみを抽なとやこうを
らんふりまこふ人をうふとはきいふをきあいて連
なふくあうふ松ふまふ乃外りは連をはて
ふおおくふ大弁よりのきこふひいていそ
それもいやをあとうふりまて来望なくをわさくま
事こをまあの為んおなふんなとのまをふかふほ
抽をそきこ抽下新なをふをする事やある空とんを
さなこうを拾ふは書こくめそくひ拾るなふふ

国立国会図書館　タイトル『枕草子 5巻』 請求記号 WA7-141
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『枕草子 5巻』 請求記号 WA7-141
ガラス使用

つさの出人氏家面打消うちをまして也
つゝくなくさむる拍
物語こをを始く三四ちうをなるちうの拍おう
いふいをちいさ氏らあの物語したるふの名なと
ふことちうさ風くさも共おとあのうちさふひ拍
よくいふうきさ氏よ拍いをのまといまけり
やうとろろきよくいひうとよ
いをうろきよくいひうとよ
車とその面とくむまゆもなの人よくむ成
うとといふうかとそう在よなきこをなう孫八分
人とりさくむをようきお人のほるへまうを
なう孫とはさうしをほうへ美りのとあるハさるし
うそあやー氏妻ーををよくふうをを出りん
妻ーの限をうくむとそあまーそのきーまのとうみそ
なお在よめそなまりの
波術乃祭のたまへりれうをの車みのならん
志くくをいをおりーそ面ハそのきーまのとうみそ
うくくとあほう清原面乃波
初りわけうかのをみともをしむくほうひをかあ
ふまひ人をはおれくうあの通うをひのあとみを
あくんあの衣とをつ升くさ孫ともやうてまへし
ふ氏へわさしあいうをそ升ほ月を清およ出りる在
ー氏や面上人をかそ風くさうつふ在てくそ
まをやくうひをいふ拍をのこなとのとせんこふうさ
てあるをはおよ女そあくとりさ風思ひうけを人や

きふるのかそうのかわ笛の抽を
ぬうわなくおかそうふきをま
いをなるまゐ乃一をれそし
ゑる衣をいとゆめたう有りう
をゆえ乃をのことものてと
よ者さなとあそいえ一けまさ
と見るみある孫をは私を約て
なほ本乃りとに車そなまそ私のきふをたふひな
て次のうけみそんひのをきぬはやをひふよりそ
およなくきはうてえゆるそしし
はくこえはそせてまふかとをいとたうてきよ水乃
初のおくをとふんのあうなを
神をうれ一安初初めはらん一

おおといひくふ人の年こをにまひ人まくめてなふ
りのよ思ひ志これくふおくるて上の汚社乃一の
そ一乃下にあをる我毛ゆくふうあらふ抱思ひ
いまし一をおりん人とな我山めそなまそをあそはう
ふ要思ひをけまけ連八幡乃汚時の祭礼そ祈
いとつまくる連なとそくうて久楽まさを勢さる
くんはうはおう一かまく後くをはくうろより
まるはろこそうち部それなをいふ我う人れ活お
ふきあ一めてあをう人まうひめて海をせん
なとおはせらそ海こくるやさふ蛇うんさうはいふ
めそたおくんなとやうれうる里て文の汚おかを
な我越越ほ勢さ也の人とあのまるてやまとひし
くへそ共夜海りてまひ一をうまし初里一抱れ

国立国会図書館　タイトル『枕草子 5巻』 請求記号 WA7-141
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『枕草子 5巻』 請求記号 WA7-141
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『枕草子 5巻』 請求記号 WA7-141
ガラス使用

かそうけのさらしなおうかまをやみをもらせ
城りのみ入ふをたうけあそうしまかそひつ
きそあけをなるもれ
孫をそ乃すそうつとめてはをそをあらふ人ふ落さ
ぬさそれをくはか志あるまくらこなふ〳〵入ふ酒すく
めれまあめおそれひさ〳〵をゆくこぬ衣のあへた
おをいつまをくくきそなおなふ中に移りいろ乃
きぬこそきたふそれ
いやけなる酒
武勲のそうれいくふ髪のすちふそふのひやう
蛇乃のさらし奏みりく後こうをさるいうひ
なき酒まくゆさなふとを乃こんこれなそうしくふさ
てく掛の衣おほをさうせてこいみんさなとりとり
やまうふうきさうるやわァはうしなふをゆかうりのをい
やきこむ後そりの車れよそおひ乃そのは
いよをのをらふときんのみはふ
はこくの出雲む後れをみ
なをたふはくりの
くうねるりとゆひまおやなとの仏ちはうして
きこんなねをまふ原まて中なを仏ハうふ
れまふ後川おそれもれいそ思ちあのなき入くらを
のまんいをめれとのいさをみをやまてひさう
あれうるけとうなとみてあとにみいち原うね
人のこふきくはあうをこくりわ人なとのをう人
なとりふまうこそは原迷川をくお人の
きこ原をいひへをあそあまよ

なりてなわくをゝ又親のもとへ
えるをうく〳〵虎乃子なれつゝ
人をゝれりの
あと成てなき人乃ゝみかの
ちをゝみさをうく〳〵さ人ゝ相いゝ
さ化よ生ゝ乃ゝさるのさにゝ
なゝをゝやよくゝさゝて相なゝ
成つゝをひよをゝ袂なんとせ
ゆを要乃〳〵思ゝ親のきゝ成ゝ
りのをあ連見せよやゝてなゝ
なゝを相いゝとてふとゝきゝい連
ゆう〳〵あくゝ見るこそいとよく
ゝうをうりのひゝかくゝさて
なゝとゝうをゝそりふれやゝ
あくゝをいてて見ろこそあろりゝとあけ連

名おそ海〳〵なりの

あ成ゝち若のゝうゝをゝいくゝ
ゝちをゝみ乃ゝなゝいをうゝふゝう
くゝをかこ川〳〵かゝうゝしゝ
いふゝて我袂ゝおあそをゝるれそろ〳〵ゝ
ううゝみ第ゝれそ海〳〵ひゝち
こいゝをゝ海れゝとゝおゝわうひゝそゝかゝ〳〵ち
りのをゝうゝんうゝれゝ

見るゝこゝをなゝるゝをゝ文字ゝうゝさて
あとくゝしゝも共
いちゝ我第ゝふうゝさゝうゝをゝ

国立国会図書館　タイトル『枕草子 5巻』 請求記号 WA7-141
ガラス使用

大まか山のくさやうをまうてこうの法えと書こうとはえなくとをありぬべきつゝ
むりうをなほりの
思いをのくこうに移こえこくこうち移をそのいまこと毛をねひねをとをの中にまりあまさま移りて出こうこうまさけうに思かをきぬのぬいめをこりとな殊なきよおなぬ而れくくむあとをほ成事ある人のちいさ犯まだなをあまさねくあめうひをきいをふこうーをんさーの犯女のこくらりこうしてひさーおなるをーをを男乃仏れうちよをなはうーおなるをの事
忘也をのくおうるおうち
正月のおや移約安のおりれひめ海うら君六月十二月のおやこをりれよおりの花人まり法道の威俊師あうけさきて僧乃名を預あけ
文乃人れまあいをととを任と移こうとくの而前基月祭のこ移りとも大きやうのとうれあ色三正月乃くをりこうのみくーあけ芸舎海をんをんうう移め大容の風れ史生七月のをまひ面海月れいちめ笠わこりけるおりのうんとり
くるーおなるりの
私なきといふ物をれちこ乃めよとなりふ人みさをうちてこるさかあこうみふをんらまこる男あこ犯をのくをよあめうをこうる老んしやうんふそやくそよふまをけをうをなきをけをそうう人わうりまふあこーと移んすこるいとくるーけるを

まわりのうるさうひする男ありまし
きう女一れ不りときめく人をえ座くをあう孫
空それをよりめる仏いうまきう添人

うや南しま掛

経なとあうひさいりうをくくしきてかれち
まてをさおあ一所をしくりわ男ら
女をうくく空やをうふ接あうこそのまかやう
ふいりおとあそふとあかゆまちなをわつらひ
てみ一きうふうちわうひのりひ思事あけみて
あゆさはわを人こそいうをうやまー付まいあ
ふ思ひとあて事をうふ中一のこやー添北祖
わりあくそうしき祝祈んしそのかふありこそう
うしををくをくまてくとうこうお

きくゆをにさ死よううつるいとううやま
二月むまの月け暁よいをきしうさきうのなうりわ
あもうくハこの術そうわ月のをきわやうくく
ありをり人なてはあとにをひうくぬ人を
世ゆをあんりのなふしふはうてはうひとまて
液打て座をむよ坏まりをなる女のつかはう
そくなをおそなうて出てしし後そ三衣を掃うてお心なハあとおを
なうれ乱ー中そ下向志思へ一宮るよありの出うる人
ふうういてくうりゆさあて出るところを
をめをとまるまーおるすは北かまでの月うくいの海
あうちやとおわしーうおとら女自法師をふきう
おうる人いさー宮うやまかをのーかをうりう

国立国会図書館　タイトル『枕草子 5巻』 請求記号 WA7-141
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『枕草子 5巻』 請求記号 WA7-141
ガラス使用

せねるなる上達部など許し給ふ外
のわか上人などのわかき殿ばらの
そこそこひそりなどくるゝ
いまれ夜乃いとみるくてかゝ
むしあけのよにこゝろ移ひぬる
ふるをみるなをあれむのてと
おもうくてまくらのをのおやな
まろなをいとおそ給ふ殿上人
ねはゝ捨ふみをやて秋こゝろ
やういふおんなをとそ出たま
るまし秋ふかのまこまとかこへ
かゝなめまをうふ虫のこゝろ
そう人らせの人ら七夕まつりなと
見ゆるとのせをはまハなかの
乃ふうこれ中将と申殿上人ふ
りふよはおてもなくあをそいり
ふゆそう思めこしとこゝろ
城こそいとうへ外へ除ふうき中
ありつゝ女房
なをあそさやう此捨れを世移人男をさをみる
よこゝろ乗と角なる夜おゝこゝ
内なる人をかな除人も仏の
こゝろなるやは三月廿日ころ
あまこたてまをやうくこゝ
まく郭中ね源中ね六位ひとも
給よをあうこひなとけるふあは

とて袖をわりまの波なるを一ついふうち出一外へまゐ源中おりの海とをおいせたう
もむしあるふみいをきこう七夕つかとみふをいふうう
称さうまてあうつきのふうまのうまさう郎とをみて
ひわうりめそをかふ事思ひまそいふそに
おーふそうーなとひくおりふうふ
うふの称今称ふちあれとそけくおうーみ
七夕乃たりひるをひ出そやとおりひしう
さい希うふのまおしういおかなふーをいてふ
それうれふつけなんとをんみう希てとのをつさ
なとみそやらんなとおもひ一程ふ七日まのふまの
ちうはうくそれおのうなをいひおをんふ

我人おふくふよふとひいあやしなとやうち
かさみきなまりんはふはそれまをなまー事いくん
とそわふ露あほめうそいうへ給うしは称う
いうわうまふ月あ後いふくをおもひ称
うふりの心なうふくさそふにくーをなえふりのて
さそふ思ひはうけまうやうにの称ひくんり称らと
ふ称さうりいひ中おを思ひをようて右まう
あまー暁の事をいまめらをふうくのふ
みそあよさうたなとひれとこそてうをんなとえ
事を人まをふうせひ君をかはくりふを何事そ
なふくそや源中将をうひつ表てとん空いそ称い
うの表ーなふあ述のさまんとうみらまくようき
中ーの述そうせてまわいやをなんふりふをを

国立国会図書館　タイトル『枕草子 5巻』 請求記号 WA7-141
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『枕草子 5巻』 請求記号 WA7-141
ガラス使用

なをいひ居るひつまで人てこ事よなをといふ初め袴
人々うちみ一面をもむところはれわほこそよけまさほ
あうわよをもけを奉里給なるりのをとさいうへ
たりとてをこ見て初やかしにうこと人を毎のこ実ゆまハ
人のいひみるし事うさ海うりやうみのふなを
いうまめたちてうこと給あるなやしその成うり
をりやのて作るさうにきてとめ給事をいふ
かさりうなる人を引いれうふ般ハさるへまよ事を
なき成りとをり出なふ指こそなうふ紙やうふ
るらふよをもうれいてもなふんといを地一や
おりへまさやうふ伝やうの事となんいひ伝忍人の
いふさうまくおりのをといひそ引へみ一くハ後
ゆをな成人うくらうねしふ奉ると

うかく面上人のるらふとそいひそてうこの里と
のの人をけそを独をうみのふへくをあうさ有る
あ一なとの人いを後をたえて面こ給よ事り
むう一おりて姫よう成ふ
うをんなれ事こそのみりてみ一そおうるうう
給乃ひやう姫のあまてそこをまきうる茂れうく里
事うれの本かまきうる地をりはれりのはかう人里事う
忘しれめうき本下乃かさひ一乃ふりぬるをうこの
なくうをぬる七尺のうう一のなくく成利事う忘ひ
そあれたりをのくそのうん里事う色このみ乃れひ
くうれまきうる面白き取乃またちあけ角地なとを
さなうう一あまとうさまみくさなとをけまそ
なのをけあれり

心うかくて人われからなるは
六位のうへ六ゐきそこをはくる人のあ
あとなりうかみ大事うけ
六七八十なる人のもくちなうう
ゐる風吹よかあけ
ちのくそとをき
文乃包れまりもぬそう
くまのはくらなりいふ乃
月の一日ゆと
と後くてちる
あくらく　母のみち　男女乃
井を
かりまれ井をうまれ

井さうをおさなあ　母のまた
みるえもさむしをかめうこそ
かゐ為掃為ふさ記をまちれ
受領を

紀伊守　和泉
やりつさのもんのうこと
下野　甲斐　越後　筑後
大夫を
式部大夫右衛門大夫史大夫六位蔵人思ひかくへ
事ゐもなくれかうみりえてな
といふ人ゐのさ座せをおりく
ゐのさらくに車やりに車引い
ゐほくてうしたのせて草

あまのり山人乃ともなるりの
ゆるとたえをさ一乃そきそき
まらふ夏うめまま孫うち正夏
いやくきひ一ういひとうめん
もたりふ心あれ人そかなくひ
をくよう分ふうころ秋ふけ
雲いひくねるをほりねしく
うやなとなまく夜風うくふま
あるくふあけ思へ美氣色をめ
海門をあまひらへさう雲あは
てあちなく暁うそりをなる
うひねるハな秋こそあまま
おりふらんとは人はくまの

くまきくみそさそあくんお中暁とをなく門いとん
一あくことなく何のえ内わこり夏つなる人この
おあひしてくうしなをあけなくう冬のもとめ
あう一て人共出ねるのちもりそれ
それをはなをまりていやをおう一笛なをみきてお
ねるふ我をいそきても孫ら連は人乃う人なとをいひ
琴なを結ひまく孫いりねるこそおう一それ雪
のいとたくくをなうてうをくふみう琴なとも
いやこそれう一け連ス雪のいとをくく海ほこうタ
くれよねそちかうなあ一あろ夏人二三人こり
尖をけ中に乙人く物語なとをけるかとらう風
ぬ連てこるくまを尖をとまさぬよ大事雪のえる
いとおろう乃人こ生くう月尖くをのなとう貴

国立国会図書館　タイトル『枕草子 5巻』 請求記号 WA7-141
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『枕草子 5巻』 請求記号 WA7-141

ガラス使用

何事うまさらん物語などいうも口おもくて
さうし事ゝたてとうさうあれをおかし
とをみ紅のうすあやうすき白うすあや
はくれなゐらせまほなどそれにうつくしき
をかゝほうすいろにうつくしきかみ
乃ふらそする女房と抱いひたてまつれるまほ
いつゝへいつゝそゝろとをかしきをひとり
そゝろくなどのおかゝほをなでつゝ
そゝこゆるをめもあやうすきまゝなまそあひなく
おもてそあるむやはくふりのまほ
みをまいつゝ世外はきちやうれう
そやとひまほなほへさそ笠やうなるを雑
てたはるとかへうやあんと思ふよいやちかう
おおてはなとのおきはいつゝさまひ時ひをさ弥ひ
うほうなとのさまよはこゝはくれさやあるしなと
の外ふうはまてさてくようみえやわまわはる
なほうつゝるをいと浅ましむひ
やをうかちうつゝともおおうを弥やなと見うお
車のかさふいさこの見おこ世のほそきまさ引
はくはひをはうけりやとねとさゝかくをなはいや
我ふなうつゝをおほまなくりまてゝ立出ほそやあ世
何人くゝきふ何事をうさこえんうはれう
とさくけまう扇とり人とりのかくへまほ
かゝのあさふ人思ふまほ人ほよりかくへまほ
やはさてこそ見ゆゝ先とくをはふ人なをおりふ人と有
をほまさくりおてゐをまの書ふろそなをの外ひ

誰かくるまでとさしはさむと大うちみつくるまで
ねかはをかわりさるたわらをひきをひてて
とまりてみくしもはをとまさうかくしられて
ともかくをあいなる絵さえてぬ迷えをりをそる
くらあきみとるなふうをやうりえんなるふこ
そそさこまれを

いりふしていりふこ海いたる
そらにさえをの秋なるを世を
とるんはきしおハとあるふめてあくをちちやを
思ひ乱るみな絵お新乃人そ詞をきうぬりふ
うた更こそ我袂をよう思花ゆへう
うさ君れりとを三代そひしお
な絵色をりをけのしな絵を世外へ志きのかこを
をのはうういをうあしとて糸うせて後をうこて
おしをなさてはそこのうをんいをわう
さこまうかなふりの
四月一日よりめてさいそみはかひまろ人そ
絵ふたひの美人うかおきしまを除日みそ年の一乃風ひうろなる人よ後こひ
なをいひさいとうしあうるを外へまなを人乃いふ
いうへみなふういをあとやうみ乃後ひそ伝なまい
なとえをこさまうかるをいる人おほをいとを世ろ
中にえうまそむこふそうを袂うをわまハと思ひぬ
袂しあきをのくおてうきふ絵をんしやねふさふ
のねとうちさぶよういるうかさせうこ乃人志を
ふきをしねさうりてはくふ会しそをたねう

何事うへ心地のなほうとくなりまさりつゝも女うへなどのほゝゑみ給ふ御ありさまのよけなるを傍邪魔にくゝ心ぐるしうおぼえ給ふ事のあらまほしきまゝにて宮はおはしまさゞ

うへ似うる

風を

いつしか本朝三月をもてはやし給ふ御ありさまの今くれ行くを心ぐるしうおぼえ給ふ事のあらまほしきまゝにて宮はおはしまさゞうへ似うる風を

いつしか本朝三月をもてはやし給ふ御ありさまの今くれ行くを心ぐるしうおぼえ給ふ事のあらまほしきまゝにて宮はおはしまさゞうへ似うる風を

いつしか本朝三月をもてはやし給ふ御ありさまの今くれ行くを心ぐるしうおぼえ給ふ事のあらまほしきまゝにて宮はおはしまさゞうへ似うる風を

いつしか本朝三月をもてはやし給ふ御ありさまの今くれ行くを心ぐるしうおぼえ給ふ事のあらまほしきまゝにて宮はおはしまさゞうへ似うる風を

国立国会図書館　タイトル『枕草子 5巻』 請求記号 WA7-141
ガラス使用

こゑはりふみちさうんやうにこゑ吹いまうあそわらうまをとるとき風乃おとまねのうへをくりわきそくちはのわりきぬのうへをくりわきそくちはのわりあてなとのあうちおきそ風のおとはきよ孫えはまこひさうまくふ鏡うち見くりやおをこいさまおうち孫とまさおとかなとを見こ思うすくしよひとへのかいへうかあろひうち苑をくりぬまなとこさはうをいろのあ井りの残きてかこをあ尾苑のやうなるそおをへ一てうけうりをきぬの

すそふを庇まてくるのおのうおとやうみそいまりれ見ゆれわうへのまうむくの孫こあにお苑おうまきうせんさいなと残やうあ井苑おあ一てなとをれとうやあしくよをうちあ一てつきうひあう

う孫をおう

ちく孫まくなりのりのあさてくきくう女そうとをおうと思あうれおひやうふやをこうにあうへまうあ一てうちそよめきそまいおけをひをりのまいふ社よやちくいなとのとわまおせくあひさけのろれなう迷ふをを耳こそとまのれお孝きあのうさやうなあほよはうううをなうてかこのよりあうまうろれ井のおふうをまいく

国立国会図書館　タイトル『枕草子 5巻』 請求記号 WA7-141
ガラス使用

ありをひつゆいやはをれあ一ぢう火の
消ぬちやうれをの月こみをのもかうれあけうう
あのきえやうなる風もけさやうふ見ゆふくてうし
ぢう火おけのそいきよをれあ一ぢう火てよく
う餐ううゑれうれるこうはのいときへやう
ゐすちうひうをれう一ぢいうふけて人のうか
泳ぬるのちうとのまうくる夜上人なとも共いよ
おくふ碁いう一あよいふくをとれあまうさこ更たふ
いとも一波ゐくをのうふ火こりたうのるこ
てくやうう人共ちのふ風うお中なとうれと波ゐ
ていふ事をきこえ男をふのひやくふおわうひ
きうこそなふうのうんをれうれ

消を

うさ一風やそ一風たりま消うれしまま
まうれの消とようのちまうこと志風

演を

そやのそ風吹上の演前のそ風うもての演をよや
のそ風千里のそ風こそひろう思ひあ一ふ禮

浦を

ありのうう志ふうれ浦志ふのうう
ちり波まの浦りのうう

るを

つふさうのさ紀かうまんき聖ハあうう大師の所
まこうなる風うなのまる世石山あ川志賀

国立国会図書館　タイトル『枕草子 5巻』 請求記号 WA7-141
ガラス使用

旧請求記号
195-40

国立国会図書館　タイトル『枕草子 5巻』 請求記号 WA7-141

ガラス使用

国立国会図書館　　タイトル『枕草子 5巻』 請求記号 WA7-141

ガラス使用